

# 立会川の水質改善対策

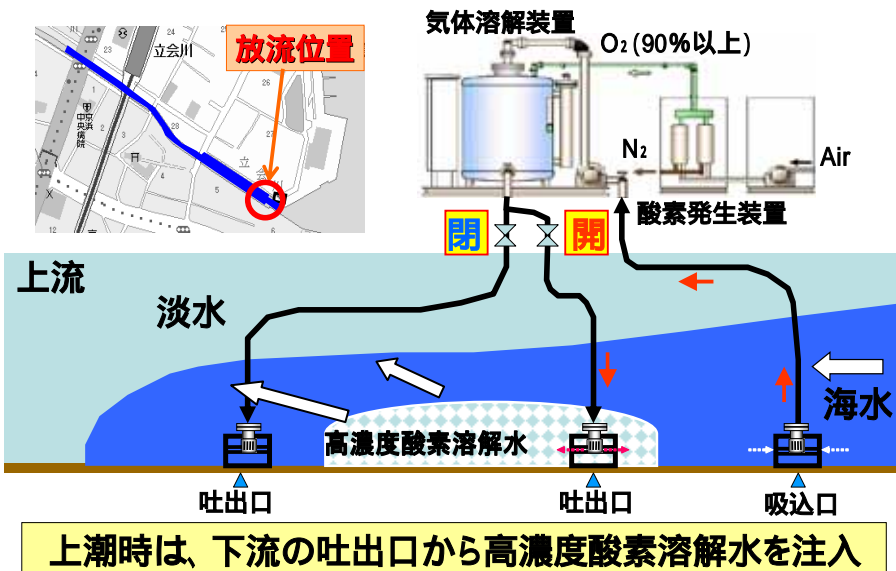
実験場所 案内図

平成19年度に実施した水質改善実験で一定の成果を得られたことから、平成20年6月から高濃度酸素溶解水による水質改善機器を本格稼働しています。

平成21年7月1日からは、効率的に酸素を供給するため、潮の干満にあわせて溶解水の放流口を、上流側と下流側に切り換える装置を稼働しています。



## 立会川の水質改善



供給水量：100 m<sup>3</sup>/h

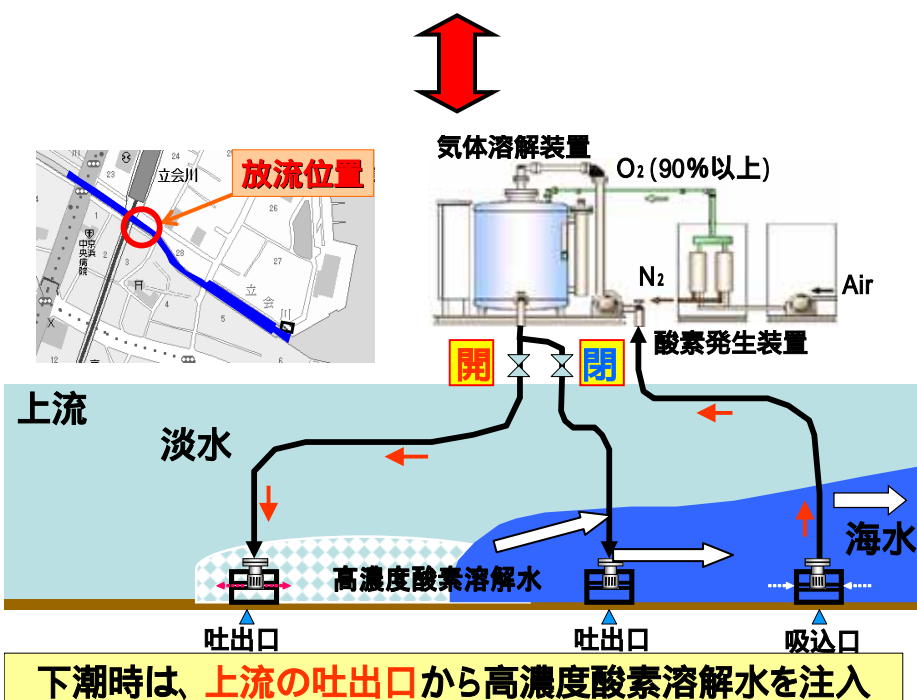
供給水質：40 mg/l

設置位置（縦断）：

- ・ 吸込口 河口部
- ・ 吐出口 河口部（下流側）  
弁天橋付近（上流側）  
（河口から0.2 km）

設置位置（鉛直）：

- ・ 吸込口 A.P - 1.4m
- ・ 吐出口(下流側) A.P - 1.0m  
（上流側）河床部



上潮時には、下流側の吐出口から高濃度酸素溶解水を放流し、上流に向かっていく潮にのせて拡散させます。

下潮時には、上流側の吐出口から高濃度酸素溶解水を放流し、下流に向かっていく潮にのせて拡散させます。